

令和元年度「嬉野市かがやき大学」 第9回講演会

令和元年12月9日(月) 9:30~10:30

於：嬉野市社会文化会館 リバティ

講師 佐賀県教育庁学校教育課人権・同和教育室
指導員 吉富 九子 氏

演題 「共に生きる」
～ 出会いと気づきの大切さ ～



嬉野市でも、高齢者の増加と共に介護や認知症についての課題対応が急務になっています。独居高齢者の急増、郊外での買い物場所の消滅、移動に関する現状などから、外出困難によるコミュニケーション不足、買い物弱者、要介護者の増加が課題になっています。そこで、市内にはボランティアの協力を得た「ごましお健康くらぶ事業」という福祉の取組の例もあります。

ご講演では、普段あまり気にかけていないことでも、人を傷つけたりしていることに聴衆の方々も我が身に照らして思いを巡らされているようでした。人権、偏見、差別について改めて気づかせていただきました。

また、日頃から、テレビのニュースや新聞で「LGBTs」については、見聞きをしているところですが、特に高齢者にとって横文字の略語で馴染みが薄く、よそ事のように実感として受け止めることがあまりないように思います。今回は詳しく具体的に説明していただき、概要を理解されたようでした。9%が現実とは信じられないような、まさに目から鱗が落ちるといふ衝撃を受けられたようでした。ポイントを押さえた内容でひとつひとつ丁寧に、具体例やイラストを交えながらお話いただき、聴衆の皆さんはメモを取りながら理解しておられるようでした。

ただ、「LGBTs」に限らず、根本は「人権」にあり、演題の「共に生きる」という生活の中での大切な部分について、日常的に意識していることが必要だと思いました。「人権」とは「人が、人として生活できる権利」というご講演の冒頭の主旨につながるものでした。

聴衆の方の感想として「エルジービーティーって、難しそうと思っていたが、お話が分かり易かった。」「9%とは、全く知らなかった。意識したこともなかった。」「ヘルプカードのことを初めて知った。」などありました。